

本せどりのための 用語集

● 基礎編

せどり

店舗やネット上で商品を安く仕入れて、それを別の場所で販売して利益を得ること。

扱っている商品によって〇〇せどりと言われる。

例) 本せどり、家電せどり、ジャンクせどり、...

せどらー :

せどりをする人のこと

仕入れ単価 (単価)

商品を仕入れるときの価格のこと。

店舗せどり

店舗でせどりをすること

電腦せどり

インターネットを使って、ネットショップからせどりをすること

全頭検索

店舗やネットショップにある商品を全て検索して利益の出る商品を見つける仕入れ方法

→本せどりの場合は必須のやり方

目利き

経験則や知識を頼りに、たくさんある商品から利益の出そうなものだけを

検索（仕入れ）する仕入れ方法

外注

外部委託というもので外部の人に自分がやっていることを契約してやってもらうこと

相手方の時間が空いているときに仕事ができるという契約

・雇用との違い

雇用の場合には仕事を時間で決めることができる。

外注の場合には時間ではなく成果単価（1冊仕入れたら〇〇円）のようになる。

せどりの場合は外注という人が多いが、

契約上雇用になるはずなので、もし考えている場合には注意する

Amazon 編

大口・小口契約

Amazon の販売契約の形態

小口： 毎月決まった金額の支払いはないが、

商品販売時に 1 商品につき 100 円 + 税を支払う必要がある。

またツールが使えなかったり、新品の場合にはカート取得ができなかったりと

デメリットが多い。

大口： 月に 4900 円 + 税を支払う必要がある以外は

小口のデメリットを改善している。

俺様価格

本来その価格で売れないような価格で出品をしている価格のこと。

突発的に需要増加が起きた場合には売れる可能性もあるが、

ほぼ売れないので仕入れ対象とならない。

※単価が高い場合には仕入れないように注意しなければいけないが、

単価の安い中古本の場合には、特に気にしなくても OK

プレ値

定価よりも高い価格で販売されている商品。

俺様価格との違いは需要の増加や手に入りにくいなどの理由によって

そのもの自体の価値が上がっているところ。

FBA

Fullfillment By Amazon の略。

手数料を払うことで Amazon に商品の発送を代わりにやってもらうサービスのこと。

単価が高い商品なら、まだ使用することも可能だが、

本せどりの場合には、手数料の問題で仕入れができなくなってしまう。

発送を代わりにしてくれるというメリットも確かにあるが、

- ・いかなる理由でも返品を受け付けてしまう（手数料は販売者負担）
- ・Amazon への納品をしなければいけないので、思っているより手間が減らない
- ・それを考えると手数料がやや割高
- ・売れない商品があると毎月在庫保管手数料を支払う必要がある

個人的にはおすすめしていない方法。

自己発送（自己配送）

自分で配送業者と契約をしたり、既存の配送方法（クリックポストなど）で

購入者に直接商品を発送する方法。

詳しいやり方については教材に記載

SKU

Amazon に出品する場合につける、商品ごとの管理番号のこと。

紹介しているツール集内の出品ツールを使えば、自動で適切な SKU にしてくれます。

ASIN

エーシンと呼ぶもので、Amazon が独自に発行しているバーコード番号のようなもの。

跳ね



Amazon は商品が売れるとランキングが上がるような仕組みになっている。

それを利用してランキングに大きな変動が起きた時には商品が売れている部分を『跳ね』と表現している。

ビーム



本せどりの場合にはこういった小型の KDC200 というもののことを言います。

スキャン

ビームを使って本のバーコードを読み込むこと。

●ブックオフ編

単行本、新書、文庫



青で書かれているのが本の種類

ピンクで書かれているのが、その本の平均の定価。

児童書

絵本などの子供向けの本。

新書サイズのものや大型サイズのものまである。

ハウツー本

小説以外のビジネス書やノウハウ系のことが書かれた本を総称してハウツー本という。

日本人作家、外国人作家

日本人が書いた小説か外国人が書いた小説

ムック本

雑誌の中で ISBN（978～）と呼ばれるバーコードがついている商品のこと。

単 C

ランク C の本という意味でブックオフで使われる言葉。

せどり的には 108 円の本、もしくは 108～200 円の本のことをいう。

プロパー

単 C 以外の価格のついた本。

均一棚

プロパーの本の一部だが、棚全体が同じ価格になっている棚のこと。

例えば新書が 280 円均一になっていたりすることもある。

最近はない店舗も多いので、こういった棚もあるということを覚えておけば OK

インスタコード



こういったプロパーの本に貼ってあるバーコードのこと。

Amazon 価格を意識して値段がつけられている。

ところてん

プロパーの棚がいっぱいになってしまって、そこから単 C の棚に値段に移動すること。

もともと値段が高い商品が 200 円などになるので、仕入れがしやすい。



こんな感じで上から手張りで値段が落としてある。

赤ワゴン

これから棚に補充をかける本が置いてある赤いワゴンのこと。

誰にも検索されていないので仕入れ対象の商品がある場合があるが、

基本的に検索を禁止されている場合が多いので、

もし検索する場合には店員さんに一声かけてから検索する。

ストッカー

棚の下の本が保管されている引き出しのこと。

たまに開けて検索をしている人がいるが、ほぼ禁止なのでやらない。

店員さんが言うには、基本的にストッカーの中に入れる本は、

棚に出していても売れない商品が多いということ。

なのでやったとしてもあまり仕入れが出来ないはずなので放置。